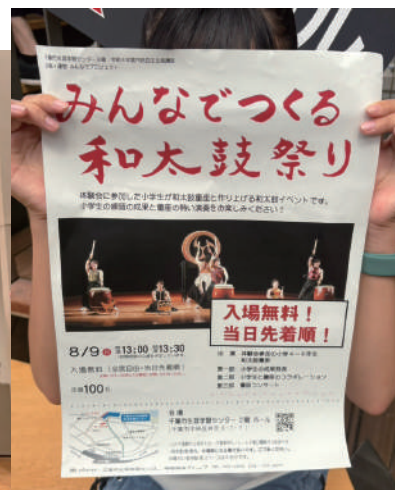


わくわく和太鼓チャレンジ・みんなで作る和太鼓祭り ～ 開催レポート ～



ー 夏休みの思い出に！ 和太鼓童座のワークショップと成果発表 ー

8月9日、みんなでプロジェクトは、和太鼓童座をお招きして、「わくわく和太鼓チャレンジ」、「みんなで作る和太鼓祭り」を実施いたしました。こちらは、小学3～6年生を対象に、午前中に2時間のワークショップ、午後に成果発表+童座のミニ公演という構成のイベントで、千葉市生涯学習センターの市民自主企画講座に採択されました。

みんなでプロジェクトとしては、通常使用している小ホールから客席300のホールへ格上げしての初めてのイベントとなります。

当日は、小学生14名に参加いただきました。今回、童座さんがたくさんの太鼓を用意してくださったので、参加者にも、太鼓が十分にいきわたりました。童座のリーダー西田洸さんは、プロ活動の経験もある方で、千葉市に戻ったのち、千葉市芸術文化新人賞を受賞。その後、複数の大太鼓コンテストで最優秀賞（日本一）を受賞された方です。その西田さんははじめ、20代が中心の童座のメンバーたち（最年少は中学生！）の指導は、参加者には親しみやすく丁寧で、大変、好評をいただきました。

ワークの際、参加者は、西田さんの号令にあわせて、太鼓をたたいたのですが、立ち合いをしていた中年の私には高度に感じられたリズムを、子どもたちは難しいといいながら、見事にこなしていきました。午前のワークを終えた後、お昼のお弁当をみんなで食べて、本番の成果発表にのぞみました。まずは、参加者たちだけで、成果発表。その後、参加者と童座とのコラボレーション。短い時間だったかもしれませんが、ステージにたって、お客さんの前で成果を発表したことは、子どもたちにとって、良い体験になったと思います。

コラボレーションを終えた後、子どもたちは、客席最前列で童座のパフォーマンスを鑑賞しました。自分たちで体験した後だからこそ、童座の演奏のすごさ実感したようです。

終演後は、記念撮影と和太鼓についての質問タイム、それからイベントの総括をして、大変、楽しくイベントを終えることができました。

子どもたちからは、こんな感想をいただきました。

- ・ はりきりすぎて、筋肉痛になりました。
- ・ いっぱい和太鼓をたたけてうれしかった！
- ・ 童座の演奏がすごい迫力だった！ かっこよかった！



童座の皆さん、ありがとうございました。

和太鼓は、音や振動の関係で、演奏する場が限られてしまうのですが、日本の伝統芸能でもありますので、みんなでプロジェクトとしては、童座の協力をえて、今後とも、皆様に和太鼓にふれる機会を作りたいと考えております。担当者の主観ですが、童座の演奏は大変素晴らしいものがあります。童座の演奏は、千葉市内はもちろん、県内外でも触れる機会がございますので、皆様も、ぜひ、童座の演奏に足をお運びください。

文責：ネコゲンキ

